

地域連携推進会議とは、施設と地域が連携することにより、以下の目的を達成するための、地域の関係者を含めた外部の方が参加する会議であり、令和7年度より、おおむね1年に1回以上の開催が義務付けられたものです。

(目的)

- ① 利用者と地域との関係づくり
- ② 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ③ 施設やサービスの透明性・質の確保
- ④ 利用者の権利擁護

地域連携推進会議録

令和7年7月2日(水) 14時～15時10分

出席者：地域・福祉(A様)、市町村(B様)

家族(C様)、利用者(D様、E様)、法人(泉ヶ丘園 赤井)

施設(泉ヶ丘療護園 向井、阪田、林)

欠席者：家族(F様 体調不良)

1. 開会挨拶(向井)以降の進行も行う。
2. 参加者紹介：上記出席者を順番に紹介し、欠席者についても伝える。
3. 会議の流れを紹介：初めての試みであるため、地域連携推進会議の説明をした後、施設の紹介と昨年度の実績や状況を報告。そこまでの内容で質問・意見・要望を確認後に施設見学。見学後に印象や気づいたことを伺うことを伝え会議を始める。
4. 厚労省作成の地域連携推進会議の手引きに沿って説明する。

P1. はじめに、P2. 会議の目的・役割、P3. 4つの目的について説明、P4・5. 会議の構成員と人数について、個人情報の秘密保持について確認(参加承諾書に記載し署名)、P6. 会議の開催頻度について、P8. 会議の議題の内容について。

続いて、資料4 地域連携推進員の手引きについて説明する。

P1・2. 資料に沿って説明する。

5. 施設の紹介をする。

泉ヶ丘福祉会のパンフレットを見ながら、沿革について説明する。

泉ヶ丘療護園のパンフレットを見ながら、施設入所支援、生活介護、短期入所などの説明を行う。

月刊誌「いずみ」を見ながら、内容を説明し、本日参加の利用者2名が参加した万博の記事を紹介しました。

6. 6月の理事会で報告した令和6年度の事業報告書の内容について説明を行う。

事業報告書を見ながら、主な行事について説明し、合わせて1年間のコロナ感染状況も伝える。

入所者状況、平均利用者数について、資料を見ながら説明する。

入所者の支援状況として、クラブや日中活動について説明する。

7. ここまでの説明で何か質問や要望はないかを確認する。

法人：療護園で何か困っていることはないですか。

施設：困っていることとしては、社会問題にもなっています人材確保が難しいです。法人の方でも努力していただいて欠員が出ないようにしていただいています。そのような中で、国が推進している生産性向上について、利用者さんに満足していただきながら職員に負担をかけずにサービスの質を向上していけるよう福祉機器の導入を考え、昨日から移乗用リフトのデモ機をお借りして職員に体験をしてもらっています。今後助成金の申請をしながら導入していけたらと考えています。

利用者さんと家族から何かご要望はないですか。

利用者D：オリンピックを観に生きたい。もう一度万博に行きたい。

利用者E：外にもっと行きたい。

家族C：こどもにも聞いたのですが、外へ行く機会を増やしてほしいと言うことと、リハビリを充実して欲しいと言っていました。

施設：コロナ過で外出ができなくなり、少しずつ再開していますが、さらに機会を増やせるよう努めていきます。但し今の季節は暑いのでご理解ください。リハビリについては、理学療法士に週1回来てもらい、専門的なリハビリを行っています。そして理学療法士の指導の下、介護職員がお手伝いして運動をしたり、日常生活の中で体を動かす機会を設けています。

市町村B：利用者の入所状況のところで定員割れしていますがどうしてですか。

施設：話を聞きながら入所調整を進めていますが、いろいろな事情で入所が難しい方もいらっしゃると思います。今後も施設の専門性を生かして利用してもらえるように努めたい。新たな入所調整依頼書も来ないので、病院や事業所と連携を図っている。法律が変わり、もともと身体障害の方が対象でしたが、様々な障害種別の方を受け入れている。但し精神障害の方は、他の利用者とトラブルになることも多く受け入れが難しいのが現状である。

市町村B：入所調整があれば依頼するようにします。

施設：お願いします。

地域A：障害の方と接するときに気を付けていることは何ですか。

施設：利用者に対して目線を合わせ、できるだけ本人の声を聴くように努めています。

地域A：コロナの時など大変ではなかったか。

施設：外部との接触を避けないといけないところで、家族との面会方法をその時々で工夫

してきた。今は部屋まで上がってもらえるようになっている。

地域A：介護従事者は必要な仕事。人材不足は社会的な問題だが、国はもっと待遇改善をする必要がある。利用者の方をお世話している姿を見ると、頭が下がる以上の言葉があれば探してきます。

8. 施設見学をしていただく。利用者の方にはお礼を伝え、居室におかえりいただく。

3階、2階、1階の順に案内を行う。

- ・居室、トイレ共に広々している。

- ・個人で運動するためのエアロバイクがあるのはびっくりした。シールは利用者が貼っているのか。(そうです)

- ・妹もこの施設でお世話になろうと思いますが、同性介助はできないですか。(その時の状況にもよりますが、できるだけご本人の希望に添えるように努めていきます。)

- ・厨房が施設内にあるのは出来立てを食べられるとともに、食中毒の危険性も減ると思う。また、いろんな食事形態が柔軟に対応できるのが良いと思う。

などのお声をいただきました。

次回開催について

国からの通知では、年1回以上と記されており、他の施設に聞いたところ1回しか行わないと言っているところが多い。当施設では、今回ご参加いただいた方たちと今後も関係性を維持したいため、年2回の開催を考えている。次回は、年明け1月か2月で、決まり次第案内させていただくと伝え閉会する。